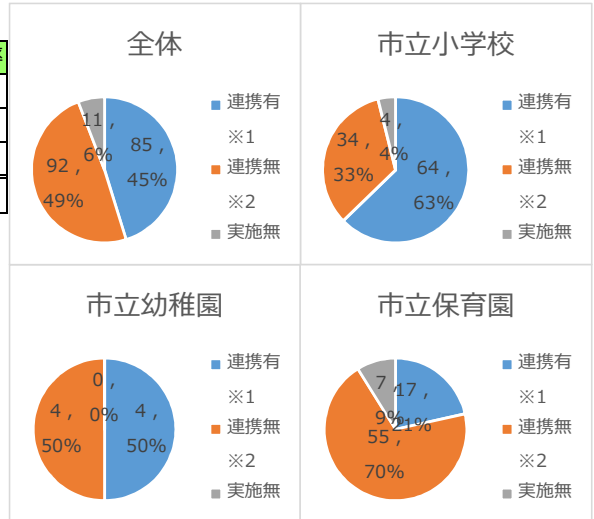


問1 花育活動の実施

【参考】

	総数	回答数	実施有	実施無	実施率	R2実施率
市立小学校	106	102	98	4	96.1	97.2
市立幼稚園	10	8	8	0	100.0	90.0
市立保育園	83	79	72	7	91.1	76.5
計	199	189	178	11	94.2	88.1



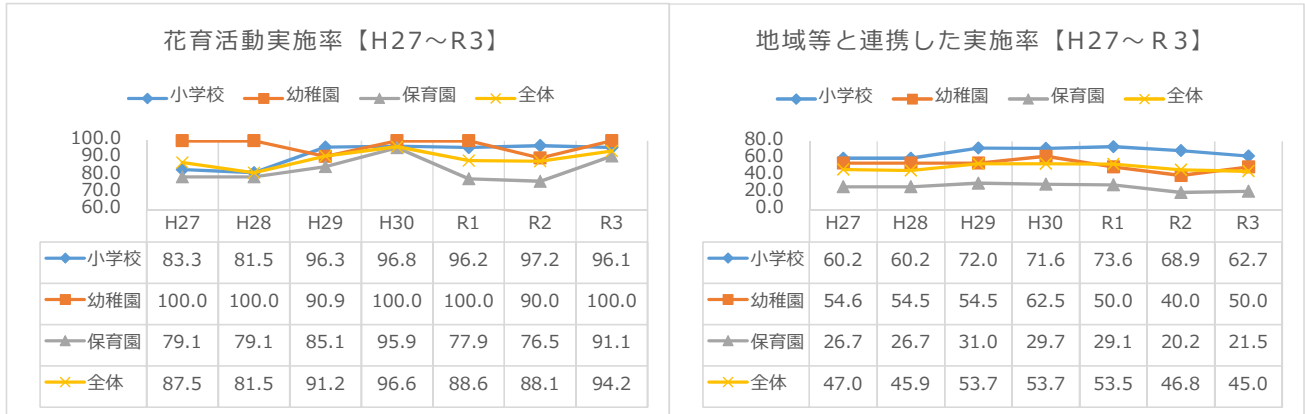
問2 地域等との連携

【参考】

	連携有※	連携率※	R2連携率
市立小学校	64	62.7	68.9
市立幼稚園	4	50.0	40.0
市立保育園	17	21.5	20.0
計	85	45.0	46.8

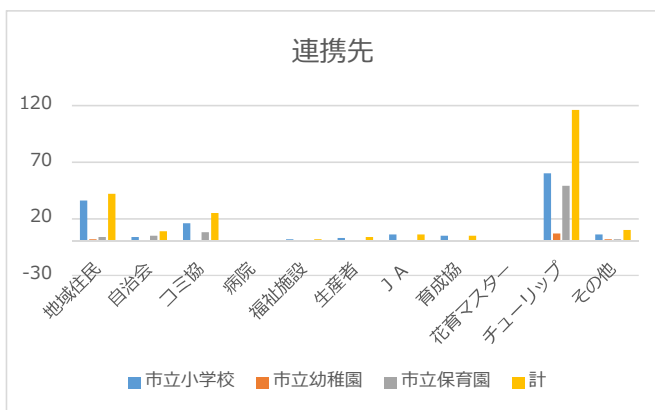
※1 チューリップフェスティバルのみ連携を除く

【参考】実施率の推移



【連携先】

	地域住民	自治会	コミ協	病院	福祉施設	生産者	J A	育成協	花育マスター	チューリップ	その他
市立小学校	36	4	16	0	2	3	6	5	1	60	6
市立幼稚園	2	0	1	0	0	1	0	0	0	7	2
市立保育園	4	5	8	0	0	0	0	0	0	49	2
計	42	9	25	0	2	4	6	5	1	116	10



【その他連携先】

- ・北日本食品
- ・NPO研究委員会
- ・商工会
- ・巻総合高校
- ・やすらぎ堤のチューリップ植栽（新潟市）
- ・アグリパーク、市みどりの政策課、エデン
- ・西区役所、まちづくり協議会との連携
- ・1年生がプランターにチューリップを植え、春に6年生が地域のお店にかざってもらうために持って行く（回収に行く）
- ・地域教育コーディネーター
- ・菌ちゃん元気野菜作り
- ・東区のまちづくりに参加
- ・福島潟管理の方

問3 花育活動の目的

	心の育成	美化	知識習得	地域交流	誇り愛着	季節感	体験教育	リラックス	仲間と協力	その他
市立小学校	85	80	14	28	25	9	9	5	34	0
市立幼稚園	8	3	2	3	2	5	2	0	4	0
市立保育園	68	39	26	12	5	33	13	14	36	2

計	161	122	42	43	32	47	24	19	74	2
---	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	---

【その他目的】

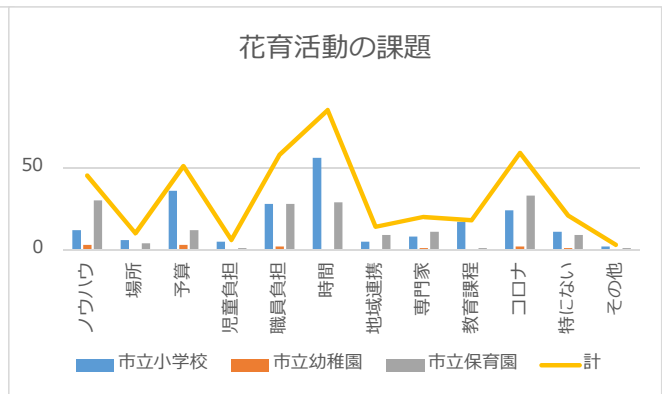
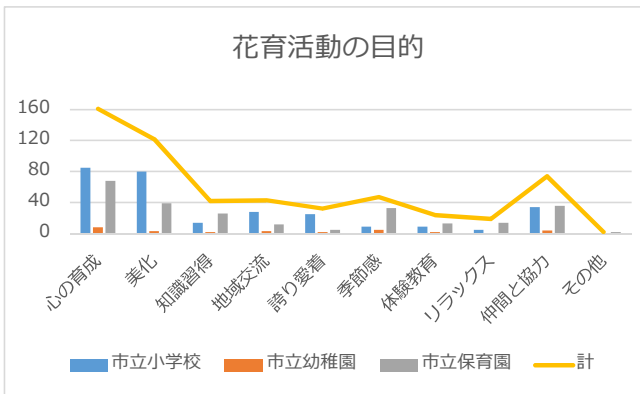
- ・花をそのままに使う、色水遊びをする、水やり当番をする
- ・狭い園庭で走る子がいて、滑り台の下をくぐった際に頭をぶつけたため、走り抜けないように滑り台の下にプランターを置きました。(R3秋)季節の花とともに野菜の苗を植え、興味をもって生長を身近に感じられるようにした。

問4 花育活動の課題

	ノウハウ	場所	予算	児童負担	職員負担	時間	地域連携	専門家	教育課程	コロナ	特になし	その他
市立小学校	12	6	36	5	28	56	5	8	17	24	11	2
市立幼稚園	3	0	3	0	2	0	0	1	0	2	1	0
市立保育園	30	4	12	1	28	29	9	11	1	33	9	1
計	45	10	51	6	58	85	14	20	18	59	21	3

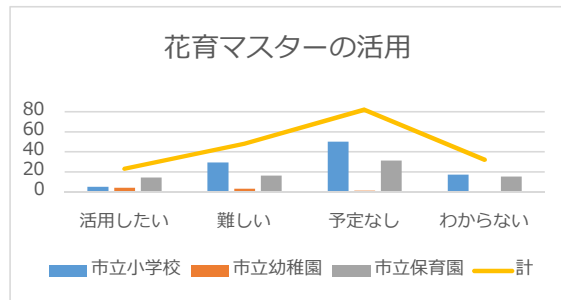
【その他課題（抜粋）】

- ・耕うん機など、機械がないと難しい活動がある
- ・校舎大規模改修のため植えるスペースが確保できない



問5 花育マスターの活用

	活用したい	難しい	予定なし	わからない
市立小学校	5	29	50	17
市立幼稚園	4	3	1	0
市立保育園	14	16	31	15
計	23	48	82	32
割合(%)	12.2	25.4	43.4	16.9



【理由】

●活用したい

- 花に対する花育マスターの思いや願いに触れることにより、花に対する見方・考え方を広げることができる。
- 現在実施されている活動に合わせて、総合学習等で楽しく学びを深められそうなので。
- 是非活用したいです。金銭的に可能かどうかを知りたいです。
- 専門の方に植え方～育て方を詳しく教えていただけるとありがたいです。
- 当園は今年度末に閉園することが決まっています。閉園の記念に親子でフラワークラフトの体験をしたいと考えています。
- 無料であれば活用してみたいです。
- 今年はいろいろなことをやってみよう、連携していきたいと考えているため
- 知識がないので、ぜひ教えていただきたい
- 園舎周りの工事で暗いイメージなので教えていただければと思います
- コロナ禍でも楽しい経験をたくさんしてほしい。
- 花育の専門の方にいろいろなことを教えてもらいながら、子どもと一緒に保育士も楽しく活動に参加して保育の幅を広げたい
- 5歳児に体験させたいため

●活用したいが難しい

- 教育課程への位置付けが難しく、時間の確保がなかなかできない
- 委員会活動として取り組んでいるため。コロナ禍で校内にゲストティーチャーが呼びづらい
- まずは地域連携から始めたい。
- 活動する時間を確保することが難しいため。
- 新型コロナウイルス感染予防やそれに関わる日程調整が困難なため
- コロナ禍のため、外部講師と活動することが難しい。
- 時間確保が難しいため
- 活動の時間を確保するのが難しい。

時間的余裕がない
地域との連携時に、花育マスターをどのように活用したらよいか難しい。
予算の確保が難しい
地域の専門家で対応できるため
なかなか時間が取れず、難しいかなと感じます。
新型コロナウイルス感染症の影響で外部との連携が難しいため
担当とインストラクター等の予定の刷り合わせが難しい。花育マスターの働きもよく分からない。
今年度は、花育活動における花育マスターの活用を予定していないため。
イベントとして取り入れたいが、予算的にむずかしい。
コロナウイルスの影響のため
園庭に花を植え、緑化に力を入れたいが、水やりや雑草取りなど人手が必要なことが夏の間できない。暑い時期は熱中症対策から外に出る機会が大人も園児も少なくなるので。
花育マスターを利用する際に、講師費がかかり利用するのが難しい。
時間的に難しい
コロナの影響で、園外の人との交流を持ちにくい
コロナの状況をふまえ、対応しているため難しいと思います。
コロナ禍であり、指導者と子どもの接触を控えている為
職員の花への知識を豊富にするため活用したいが、敷地が広く、雑草の除草がなかなか追いつかないため。
コロナ禍のため、保護者も園内に入っていない。また、外部講師などを控えているため
●活用する予定はない
地域住民のボランティアの方から積極的に参加していただいています
前年度までの活動で、今のところ十分と考えている。前年度までの活動ならば、ノウハウはあるから。
授業と連携できるとありがたいです。
地域との連携が考えられるため。
とても詳しい方が地域にいるから。
今年度の教育計画では予定していないため。
小須戸地域の花卉栽培が盛んなため
農村部の地域で、活用できる人材がいる。
緑にふれるのはいい経験になると思うが、時間にゆとりがないため難しい。
地域の方が手伝ってくださるから。
育てやすい花を選んでいるので、花育マスターの活用は必要ない。
知識を有する職員がいる
地域に花の専門家がいるので。
コロナ禍のため、校外から人が入ることは難しい。
地域に花や緑に詳しい方々がいらっしゃるため。
地域の方がとても協力的で、今現在、困っていることがないから。
クラブ活動（クラフトクラブ）で地域の方から講師として来ていただいているので、継続して連携していきたいと思います。
今まで活用したことがないため。
コロナ禍で外部講師を呼ぶことに予定が立てにくいことと、興味はあるけれども園の行事に入れるところまで考えていない。
園児だけで活動するには難しいと思う。
今は新型コロナウイルスの影響を考えると難しいと思います
花育マスターを存じ上げませんでした。
子どもと職員で楽しむ程度なので、今後検討したいと思います。
●わからない
花育マスターという言葉になじみがなく、どういう専門家がわかっていないため。資料をよく読んでから活用したい。
どんな内容なのか、子どもたちにもわかりやすいかなどわからないため
「花育マイスター」という言葉を初めて知ったため、判断が難しいから。
構想する教育活動（花育活動）に応じて、専門家の招聘を検討するため
年度途中で依頼したい学級もあるかもしれないため
現時点では活用を考えていないが、今後、活用を検討することがあるかもしれないので。
今後、どのような花育活動を行うか決まっていないため。
学習に位置付けて取り組むために、各学級の学習内容に照会して取り入れていきたいが、赴任した今はまだ難しい。
コロナの感染状況により予定が組めない状況です

【自由記述】

委員会活動で、児童がチューリップの球根を植えて育てています。萬代橋チューリップフェスティバルを楽しみにしています。
環境委員会でチューリップの球根を植えて、萬代橋チューリップフェスティバルに参加している。また夏の日々草などの花をプランターに植えて校内の緑化に努めている。

チューリップフェスティバルに参加させていただきました。子どもたちは、楽しく花植をし、チューリップが咲くと、とてもうれしそうでした。
花育活動を通し、子どもたちが身近に花・植物がある環境を提供したいと考えています。きれいなものをきれいと感じられるような心や、情緒的な面でも成長を促せるようにと意図をもって取り組んでいます。チューリップフェスティバルへの参加は恒例行事となっており、子どもたちも楽しみにしています。今後も、生活の中に花や植物がある環境が“当たり前”になるように定期的に整備し、花育活動を継続したいと考えています。半面、課題としてノウハウの少ないので、定期的な情報発信（この時期はこの花がおススメ、この花はこの時期に植える、必要な資材はこのようなものです等）があるとありがたいと感じます。
チューリップフェスティバルのような活動は、子どもたちにとってわかりやすく、また、萬代橋に飾っていただけることで育てる励みになるので、続けていって欲しい。
地域教育コーディネーターが花育活動のボランティアを募集してくださり、委員会活動の時間を活用して、球根や花の苗を植えました。地域の方と交流しながら充実した花育活動ができました。今年度も同様の活動を予定しています。
花や野菜を育てる活動を通して、心が豊かになると考えています。子どもたちの「振り返り」をみると多くの人に見てもらいたい、だんだん大きくなっていくのを見るのがうれしい、次の学年にひきついでいきたい、春が待ち遠しい、地域の人を喜ばせたいなど様々な感想がありました。
地域と連携しながら、子どもたちが植栽したプランターを商店街に飾っている。地域に対する愛着が深まっているように感じる。
当校では1年生の時に購入したあさがおの鉢を使って、全校児童が一人一つずつ花を育てています。地域の方と一緒にマリーゴールドやパンジーなど季節の花を植える活動もしています。
春と秋に1人1鉢活動を行っている。花やチューリップの球根を植え、育てている。
年中児がピオラの種を撒き、世話をしながら成長を見守った。つぼみが付き花が咲いたものは、卒園する年長児へ感謝の気持ちを込めて一鉢ずつプレゼントした。種から育てたことで、子どもたち一人一人が愛着を持って世話をすることができたこと、生長がよいものとしてでないものは何が違うのか等考える機会になったこと、生長に興味を持ったことはとても良かった。
委員会活動として、校内の草花を写真にとって紹介しています。
環境委員会が玄関前花壇で植物の世話をしています。
低学年教室わきの花壇に、花を植えました。
先日、種から育てたいという子どもたちの要望で、マリーゴールドの種を植えて育てています。その生長を子どもと職員で、写真に収めながら楽しみにしています。
花を使ったフォトフレーム作りなど、形に残る活動を行いたいと思います。
今年度は、育成協主催の花絵プロジェクトに2～6年生が参加しました。子どもたちは、とても楽しそうに取り組んでいました。課題は、教育課程への位置付け、職員の負担、時間に余裕がないことです。
毎年、ひまわりやアサガオ、綿などの花を子どもたちが育てて生長を楽しんでいます。また、今年度はじめて新潟市開発公社さん主催の事業で「緑のカーテンプロジェクト」に参加申し込みをしました。当選したら子どもたちと一緒にアサガオの花を栽培し、グリーンカーテンを楽しみたいと思います。
児童と共に具体的に活動してくれる人、制度であればぜひ活用していきたい（花育マスター）。お話（講和等）だけであるなら活用は難しい。
学校で花育の取組を推進するために、必要に応じて指導や支援をお願いしたいと思います。今後ともよろしくお願いします。
花だけでなく、野菜作りにおいても活動するにあたり、ノウハウがないことが一番の悩みでもあります。花育マスターを依頼する場合は、食と花の推進課（食育花育担当係）へ直接連絡をさせていただいてもよろしいでしょうか？
花育を積極的に行いたいのですが、どこからどう始めたら良いのかアイデアを是非いただきたいです。できれば地域との連携もしていきたいです
HP上でも見られるとより活用しやすくなると思います。（花育活動）
美しい学校環境がもたらす教育的効果は大きいと思うので、可能な限り活動を行っていききたいと思います。
お花を育てることは心を豊かにする教育としては大事だが、水やりや草取り等の維持管理に時間がかかることが課題。
花育活動は、特に「花や緑を大切に作る心の育成」「校内の美化」のためにとても良い活動だと思いますので、引き続き活動を行っていきたくて食育で野菜の苗を植えて生長を楽しむことと同じように、花育として花の苗を植え、花と緑に親しむ機会を作ることには保育活動の中にすぐに取り入れられると思う。子どもの豊かな感性を育むために、花壇づくりやプランターに苗を植えることなどを計画し、子どもたちと一緒に楽しみたいと思った。
子どもが花をきれいと感じる心を大切にしていきたい
昨年秋に安い野菜の苗を植えたところ、子ども達が「これなに？」と興味をもち、プランターに砂を入れたり（お世話のつもり？）、生長した白菜の葉の間に落ち葉や砂を入れたり、いたずらも含めて身近にふれていました。冬にキャベツや白菜が育ち、どのように子どもたちの生活や遊びに入れようかと悩んでいるうちに雪が積もり、雪が解けたころ近所の鳥のえさ場になっていて見事に食べられてしまった!!と思ったら、その後もまた生長を続け、葉牡丹のようになったとおもったら、菜の花のように黄色い花を咲かせ、種ができ…後半は保育者の方が身近に見る事のないキャベツや白菜の姿に興味をもって楽しんでいました。
実体験に勝るものはないといつも感じています。子どもたちに豊かな経験を…と思いますが、条件が整わなかったり制限があったり。でも、今年度は、ジャガイモがすくすくと育ち、花が咲きそうです。収穫が楽しみですよ！
小須戸は花の町なので、保育園でも花いっぱいになりたいと思っている。ただ、雑草の生育が激しく、草刈りに追われてしまい、花を植えるゆとりがなくなっている。今年度は外壁工事があり、足場が広く組まれてしまうため、来年度活動を考えたい。
花のある生活は子どもたちの心も育む事ができ、いいと感じます。コロナ禍の中での出来ることを保育生活の中で実践していこうと考えています。
コロナ禍が収まれば、以前のような地域との花植え活動を再開する可能性がある。
予算が厳しく、また、コロナ禍のために時間も取れない。（委員会の回数減など）花の苗の寄付などがあれば、生活科などで活用可能な場面もあるかもしれない。また、地域との連携は模索中だが、地域と子どもの時間が合わないとの理由で実施できていない。